

**製品名: リン酸化 TAK1 (Ser439) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87590**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IP 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:67 kDa; Observed MW:78 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Phospho-TAK1
別名	CSCF; FMD2; TAK1; MEKK7; TGF1a
遺伝子 ID	6885
SwissProt ID	O43318
免疫原	ヒト TAK1 の Ser439 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

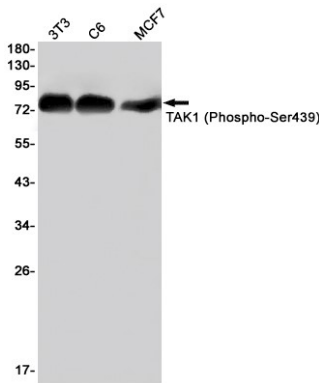
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、セリン/スレオニンプロテインキナーゼファミリーのメンバーです。このキナーゼ

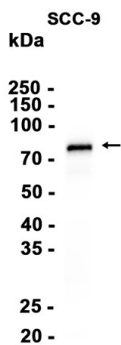
は、TGFβ および形態形成タンパク質 (BMP) によって誘導されるシグナル伝達を媒介し、転写調節やアポトーシスを含む様々な細胞機能を制御します。IL-1 に応答して、このタンパク質は TRAF6、MAP3K7P1/TAB1、および MAP3K7P2/TAB2 を含むキナーゼ複合体を形成します。この複合体は、核因子 κB の活性化に必須です。このキナーゼは MAPK8/JNK、MAP2K4/MKK4 も活性化できるため、環境ストレスに対する細胞応答において役割を果たします。異なるアイソフォームをコードする 4 つの選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

## 画像データ



TAK1 (Phospho-Ser439) 抗体 (1:1000 希釈) を使用した 3T3、C6、MCF7 細胞溶解物中の TAK1 (Phospho-Ser439) のウェスタン ブロット検出。



AMRe87590 を 1:1000 で使用した SCC-9 細胞抽出物のウェスタン ブロット分析。